

但馬地域におけるワーケーションファミトリップの実施

今般のコロナ禍を機に、今後ますます需要が高まると考えられるワーケーションについて、但馬地域でモデルを確立するため、首都圏の企業等を対象としたワーケーションファミトリップを湯村温泉及びその周辺地（新温泉町）を実施。

- 1 **実施日** 令和2年10月19日（月）～21日（水）
- 2 **参加者** 首都圏の企業、団体等 14名
 ※IT企業、雑誌出版社、PR会社、旅行、食関係（寿司、日本酒、フードアナリスト）、コンサルタント（デジタルマーケティング戦略、社会課題解決支援）、映像配信、音楽関係、フリーランス関係団体等
- 3 **行程**（予定）

日程	訪問先等
10/19（月）	羽田空港発→鳥取空港着 <ul style="list-style-type: none"> ・東藤田邸（北前船の寄港地の元廻船問屋を宿泊・多目的施設にリフォーム） ・マル海渡辺水産（水揚げ魚種の紹介） ・（株）文太郎（酒蔵） ・ワークスペース候補（荒湯観光センター、新日鉄湯村山荘） ・おばあかふえゆむら屋（菓子製造「遊月亭」の卒業生60～70代が店番のカフェ、湯村温泉のアンテナショップ） ・薬師堂天井絵（湯村温泉の文化財）
10/20（火）	<p>【1班】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OK—WOOD（杉の間伐材を使用した木製カップ、椅子等） ・高垣自転車（田舎の自転車屋から実業団自転車チームまで展開） ・上山高原（上山高原ふるさと館、シワガラの滝、ブナ林、但馬牛牛舎） <p>【2班】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・但馬御火浦村おこしグループ（保育所跡を拠点に女性グループが地域の海産物加工品を生産・販売、イカの米麴漬、ワカメ） ・田井の浜（海岸プラスチックゴミ） ・道の駅「山陰海岸ジオパーク浜坂の郷」 ・まち歩き案内所「松籟庵」（蓄音機鑑賞） ・県立温泉高校跡（H19年3月閉校） ・県立但馬牧場公園・但馬牛博物館 <p>【1班、2班合流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リフレッシュパークゆむら（温泉、ストレッチ） ・ログハウスカナダ（ワークスペース候補、交流会）
10/21（水）	湯村温泉「朝野家」→鳥取空港発→羽田空港着

4 参加者からの主な意見

- ・空路を活用すれば、首都圏からの時間は短く、但馬地域はワーケーションに向いている
- ・コワーキング施設には、高速な情報通信環境が必要
- ・近くに山、海、温泉があり地域資源は素晴らしい、どうデザインしていくかが重要
- ・子どもが自然体験できるプログラムがあれば、子どもを預けてその間に仕事ができる
- ・ビジネスにつながる事が分かれば、その延長に事業拠点を設置し、関係人口も増えていく（東京圏の参加者から御火浦のワカメや朝倉山椒について商談希望あり）
- ・地域おこしグループが抱える課題（冷凍庫の電気代）について、参加者から改善方法の提案があるなど、地域課題の解決につながる可能性を感じた